

< 豊明市特別職報酬審議会（第1回）議事録 >

1 日 時

平成 17 年 1 月 17 日（月）

午前 9 時 30 分から午前 11 時 30 分まで

2 場 所

豊明市役所 東館 3 階 政策審議室

3 出席者

委 員：9 名（相羽、伊藤、加藤、木村、都築、遠山、外山、内藤、
長谷川）

事務局：企画部長、人事秘書課長、人事秘書課長補佐（人事担当）、
人事・給与担当係長、矢野主事

4 欠席者

委 員：1 名（安井）

5 市長あいさつ

本年度は人事院勧告も据え置きでしたが、報酬審議会を開催し他
市状況等とも勘案したうえで本市の方針を出したいので、審議をお
願いします。

6 辞令交付及び委員紹介

代表で相羽幹夫委員へ市長より辞令交付。

各委員が自席にてあいさつ。

7 会長選出

委員の互選により都築和男委員に決定。

8 会長あいさつ

委員の皆様のお知恵とご協力をいただき進めてまいりたい。慎重
な審議をお願いします。

9 会長職務代理選出

会長の指定により伊藤幸雄委員に決定。自席にてあいさつ。

10 諮問書手交

市長より会長へ諮問書朗読のうえ手交。（手交後、市長退室。）

11 審議

(会 長) 配付資料について、事務局の説明を求めます。

(事務局) 審議に先立ち、本審議会の公開について報告します。

公開指針に基づき平成14年度の本審議会にて決定された事項を報告。

- ・傍聴は認めない。(率直な意見交換、意思決定中立性確保のため。)
- ・資料2について、1ページの各委員の住所及び電話番号、11ページの一般職最高号給者の欄は非公開。(個人情報のため。)
- ・資料3については非公開。(他団体情報のため。)
- ・審議の要旨については発言者を単に「委員」として公開。本市ホームページ上でも公開。
- ・諮問書及び答申書は公開。

(会 長) 公開について本年度も同様とすることにご異議は…。

全出席委員異議なし

(事務局) 資料2、3及び4に基づき説明をなす。

(休 憩 10:25~10:30)

(会 長) 各委員のご意見は…。

(委 員) 15年度財政力指数について、資料2の13ページの0.93と資料4の0.90の違いは？

(事務局) 資料2の13ページは単年度、資料4は13~15年度までの3カ年平均です。

(委 員) 資料2の4ページ、前回改正からの増加率がプラスの市があるのはどうしてか？

(事務局) 増額改定していた頃の数字で、それ以後報酬額を減額改定していないため。次回からは、増加率平均の表示を再考します。

(委 員) 貸借対照表(バランスシート)による研究はないか？

(委 員) コスト計算については資料4で分かる。あとは貸借対照表、キャッシュフロー計算書等があると検討しやすい。

(事務局) 今後の検討課題ではありますが、現在は行っていません。

(委 員) 私は、バランスシートは全国で49%の市がやっていると聞いている。

- (事務局) それは政令指定都市の中での割合ではないでしょうか。
- (委員) 資料2の13ページ、14年度から15年度の歳入・歳出の増減率が歳入11.49%、歳出8.49%だが、私が集めた資料の県内市町村平均の歳入0.5%、歳出0.7%と比べて突飛な動きになる。
- (事務局) 最も大きいのは庁舎増築で約10億円、他に三崎小増築、財源対策、借金の借り換え等の影響もあります。
- (会長) 市にどのくらいの体力があるか知りたいところか。
- (事務局) 税収を例にすると、ピーク時の約103億から15年度は約90億に、ざっと1割ほど少なくなっています。
- (委員) 歳出における人件費の占める割合が前年度に比べて下がっている。他市にも同様の傾向が見られるが考えられる要因は？
- (事務局) ここ数年、一般職員給与のマイナス改定が続きました。高年齢職員が退職して若い新規採用職員が入るのも要因の一つ。近年は年間15~20名程度の退職者があります。
- (委員) 人件費における経常収支比率が33.2%だが、30%を超えているのは県内でも数市だけと記憶している。
- (事務局) 例えば、清掃業務を委託していれば委託費となり、消防業務を広域の一部事務組合で行っていれば負担金となる。各市でやり方は様々で、数値のみで一概に論じられない部分はあります。
- (委員) 目的別に積立金が現在どれくらいあるのか。また、借金については資料4の平成15年度地方債現在高が約126億円ということだが、下水道事業等の特別会計も含めてどれくらいなのか分かる資料を提示してもらえないか。
- (事務局) 資料として次回用意しますが、概略を申しますと、基金については調整のために使える基金を16年度もかなり取り崩し、17年度に向けてさらに残額を使うことになり、ほとんどゼロに近い状態と言えます。市債は特別会計を含めて15年度末で約270億円です。
- (会長) 積立金は減り、借金は増え、税収も減っている状況か。時代の流れの中で市民の目に堪えるものという観点での検討が必要となる。人口や予算規模等が近い津島、知立あたりと比べても豊明

市が突出はしていないと思う。

(委員) 近年、人口は微増で、税収は減っている。景気が上向けば税収も増えるかもしれない。近隣も人口は微増か？

(事務局) 他市の詳しい状況はわかりませんが、尾張東部は微増の団体が比較的多いと認識しています。最近は外国人登録者数が増えているという側面もあります。

(委員) 来年度の予算は現状維持か？

(事務局) 予算規模としては、おそらくマイナスになるとおられます。

(委員) 財政をここで議論しすぎるのもどうか。豊明市は地理的に名古屋市と隣接していて将来を期待する部分もあるが、厳しい財政状況を思い知らされたところです。

(事務局) 将来展望としては、いま第4次総合計画の策定において今後10カ年の人口推計を行っているところです。前回の第3次総合計画で平成17年度の人口を7万2千人と想定しましたが、現状は総人口で約6万7千人ということで、5千人の差となりました。

(会長) 他市との比較ではこのままでよいのでは。財政力は厳しくなる状況。

(委員) 高齢者の比率が高まればさらに税収減になるのでは。若い人が働きやすい市にして人が集まってほしい。

(事務局) 総人口に占める高齢者の比率は現在15%台で、年々1%くらいずつ上昇しています。

(会長) 国連では高齢人口比率7%以上を「高齢化社会」、14%以上を「高齢社会」と定義しています。

(委員) 据え置きでいいのでは。私としては引き上げも考えたいところだが。

(委員) 私も据え置きでいいと思う。昨年度も据え置きの意見がかなりあったが三役について1%減とした。今年度は人事院勧告も据え置きで、他市との比較においても妥当。市としての発展方針、人口増加施策を総合計画等でしっかりやってほしい。区画整理等第2

波の開発も考えていくべきでは。

(委員) 他市状況を見ても今回は据え置きが多いが、県内他市の決算内容の総合的な評価数値と比較して豊明市の立場を考えるため、資料検討にもう少し時間をかけるべきと思う。

(委員) 近年の改定状況を考えると、これ以上引き下げるのもどうか。据え置きでよいと思う。

(委員) 据え置きでよいと思う。

(委員) 三役は2年連続引き下げており、3年連続は厳しすぎる。据え置きでよい。

(会長) 大勢は据え置きの意見と見受けます。先程資料提示の要望もあり、もう一度審議会を開き結論を出す方向でよいでしょうか。

(委員) 状況を見る限り据え置きでよいと思うが、もう一度資料を検討することもよいと思う。

(委員) 私も、もう一度資料を検討すべきと思う。

(会長) では、次回追加資料も含め再度検討して結論を出すこととし、本日はこれで散会し次回は1月25日(火)午前9時より本審議会を再開することにご異議ありませんか？

全出席委員異議なし

(会長) 異議なしと認めます。事務局は次回までに資料等の準備をしてください。本日はこれで散会します。お疲れ様でした。

午前 11 時 30 分散会